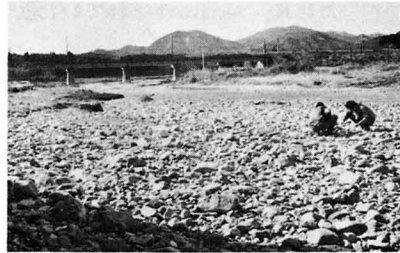


2. 川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

鉄橋より 100 m 下流で、井手橋の近く。



(2) 川の蛇行と川原のレキ

① 川の流れのまっすぐな所、曲がって流れている所で、流速を測ってみる。

② 川幅、川岸のようす、レキがつもっている川原と、水の流れている所のようすをおおづかみにスケッチする。

③ 川がカーブしている場所で川岸や川床が削られているのは、どちら側か。レキがつもって川原ができるのはどちら側か観察する。

④ 川原のレキは、現在水の無いところにつもっている。このレキは、いつ、どのようにして運ばれたと考えたら良いのだろうか、大雨の後、川原を、もう一度観察してみよう。

⑤ 川原のレキの並び方に注意してみる。石の、長い方向や、面が一定の方向に向いて配列されているように見え、屋根がわらのような並び方をしています。この様な並び方を、インブリケーション（レキの覆互状構状）とよんでいます。

図を見ながら、写真に流れの方向を矢印で書き入れてみよう。

(3) 川原のレキを調べる。

川原に立って、平均的にレキがつもっている場所をきめる。

